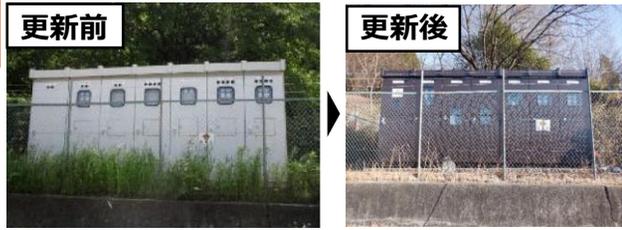


老朽化した受変電設備の更新により、災害時等の電力供給機能を確保する（埼玉県比企郡滑川町）

国土交通省関東地方整備局  
事業者：国営昭和記念公園事務所



老朽化した受変電設備の更新



- (1) 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
人命・財産の被害を防止・最小化するための対策
- (2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

## 対策名：85 都市公園の老朽化対策

主たる施策グループ：1-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生



## 事業名：国営公園等事業（国営武蔵丘陵森林公園）

- ポイント**
- 老朽化した受変電設備を更新
  - 災害時の拠点となりうる公園への電力供給を維持し、防災拠点機能等を確保

### 地域の概要・課題

国営武蔵丘陵森林公園は、埼玉県比企郡滑川町と熊谷市にまたがり、年間約80万人が利用する304haの国営公園です。

また、災害時には周辺自治体の一時避難場所等やTEC-FORCE※の災害対策拠点として利用されることになっています。

しかし、開園から約50年が経過し、園内の各施設が老朽化し、確実な機能の確保を進める必要がありました。

### 事業の概要

国営武蔵丘陵森林公園内に電力供給している受変電設備について、老朽化対策として、設備の更新を実施しました。

※国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、大規模な自然災害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援する部隊です。

### 見込まれる効果

老朽化した受変電設備の更新により、信頼性の高い電力供給が可能となり、通常時の園内利用者の快適かつ安全な利用及び、災害時等の円滑な避難誘導や防災拠点としての機能の確保が期待されます。



▲令和元年台風19号での災害出動

国営武蔵丘陵森林公園は、国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」の大規模災害発生時における災害対策拠点となっています。

- 2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

- (1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
国土強靱化に関する施策の
- (2) 伝達の高高度情報化の予測、収集・集積・